

平成30年度 第2回総合教育会議

日 時：平成30年11月26日（月） 午前10時00分 ～ 午前11時15分

場 所：名張市役所2階 庁議室

出席者：名張市長 亀井 利克

名張市教育委員会 上島和久教育長、福田みゆき委員、

瀧永善樹委員、川原尚子委員、辻愛委員

《事務局》総括監 岩崎 壽久、総合企画政策室 室長 大西哲、係長 梶本哲生

教育次長 高嶋正広、教育総務室 室長 内匠勝也、教育総務係長 金森國康

学校教育室 室長 中森早苗、参事 大杉栄介、参事 瀧永伸

（事務局）

本日は、「平成30年度 第2回名張市総合教育会議」の開催にあたりまして、お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私、名張市総合企画政策室室長の大西でございます。どうぞ、よろしく申し上げます。それでは、まず初めに市長によりご挨拶いただき、その後、「名張市総合教育会議運営要領」第3条第1項に基づき、市長に進行をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○市長あいさつ

おはようございます。今年度、2回目の総合教育会議でございます。ご多用の中、ご出席をいただきました委員の皆様方にお礼を申し上げます。皆様方には日頃から名張市の教育の充実と事業の推進のため、ご尽瘁いただき、重ねてお礼を申し上げます。

今日お持ちした資料の中で、名張市は今、高齢化率は31%です。全国平均は28%です。にもかかわらず、健康寿命が全国に比べますと非常に高い、そんなまちです。それと、心疾患、脳血管疾患、肝疾患これで亡くなる方も非常に少ない。全医療費の給付の額と介護費の給付の額をすべて集めて、それを市民一人当たりにした額がこれです。これを見ても、名張の市民の方が一人当たりに使われてる医療費、介護費の額が少ない。また、要介護度の認定率ですが、名張市の平均は、全国平均、三重県平均よりも低い。それと介護保険の在宅サービス受給率、これも全国平均、三重県平均よりも低い。名張の人はそれだけ健康な方が多いということになる。これは何故かということ、疫学、公衆衛生で世界の権威者であるハーバード大学のイチロー・カワチさんが申されているように「病院や薬より、もっと大事なことがある」ということである。ベルギーのある人口学者が「どうして、この地域はこれだけ健康な方が多くて、長寿の方が多いのだろう」と、その場所にブルーのマーカで印をしたことでブルーゾーンと言われている地域がある。それがイタリアのある島、ギリシャのある島、それからコスタリカの半島、あとカリフォルニアのある地域、そして沖縄のこの5か所にブルーマーカが塗られている。これらの地域の共通は何かということ、それは、人と人との結

びつけが強い地域、安全安心なまちづくりがなされてる地域であり、そういう地域こそが地域住民が動くんです。そういうことが証明されました。ところが、名張がこうして15年間の取り組みの中で、こういう成果が出てきて、名張は共生社会を目指してやってきて、今、全国的にも注目されています。私等は、2003年にこの共生社会を目指すという総合計画を作りました。そして、2016年に国も地域共生社会本部というものを政府の中に立ち上げられました。健康づくりというのは、小さいうちに生活習慣として身に付けていかなければならないわけです。先の19日の市議会の全員協議会において、早寝・早起き・朝ごはんのことが話題になり、小学生でも朝ごはんを食べてこない人が19%ぐらいいます。一日のスタートにエネルギーが取れていない。これは、非常に残念なことだと思っています。これには、色んな理由があり、多忙、ネグレクト、虐待もあるかも分からない。非常に難しいことなんですけど、健康に関わるこれを生活習慣としていくために、小学校で100%に近づけていかなければならないと思っています。これを少し研究してほしいなと思っています。

もう1つ、先に三重県の歯科保健大会を名張で開催させていただきました。歯科保健の重要性ということで来ていただいたんですけど、フッ化物洗口の普及については三重県が一番悪いとのこと。この安全性についてはWHOも、あるいは厚生労働省も認めています。少しぐらい飲んでもかまわないというぐらいですから、どうして、今まで止まっていたかというのは教職員組合が大反対していました。何故かと言えば、フッ化物を薄めたりするので、養護教諭の仕事が増えるんです。名張では4つの保育園でやっているだけです。これは歯を強くするというのがきっちり科学的に証明されてきているところですけども、こういう取り組みを何故学校で出来ないのか、何が最も大きなハードルになっているのか、これもちょっと調査してほしいなという風に思っています。歯科保健というのは非常に重要なものになります。8020運動もあるなか、80歳の半数の方で、自分の歯が20本以上ある時代を迎えているんですけども、これからも歯科保健についても進めていかなければならないのではないかと思います。何故、こういうことが進まないのかを調査して教えてほしいと思っています。

今日は4項目についていろいろご意見いただくこととなります。よろしくお願いいたします。

1. 平成30年度 教育行政の進捗状況について

(市長)

それでは事項の1つ目でございますけども、30年度の教育行政の進捗状況についてです。名張市子供教育ビジョンの進捗状況、全国学力・学習状況調査、教育ICT環境、児童生徒の問題行動について、資料の説明を願います。

※ 事務局説明

(市長)

説明は以上でございますが、説明のあった事項につきましてご質問、ご意見がございましたらどうぞおっしゃって下さい。どの事項からでも結構です。

(教育委員)

先ほど市長のご挨拶にもありましたが、朝食を食べていない子供のお話がありました。私が参加しました市で活動されているグループの方の発表の中で、朝ごはんを食べてこない子供が登校の時に元気がない様子で、何か支援できないのかということで、地域のボランティアグループがスタートしたらしく、何とか学校に行くまでにどこかに集まって朝食を食べるとか、歩いている途中で何とかその子に朝食という風なことで最初は考えられたらしい。月に1回でもなんとか子供たちが栄養のある食事を食べられるようにということで、週末に子供たちを集めてそういう会を作ろうということで、言ってみれば子供食堂のような形で活動されているらしい。やはり朝食を食べてこない子供というのは朝から元気がなく、肩を落として歩いているという子もいるとは思いますが、家庭の問題も大いにあるのかなと思う。なかなかそこを支援していくというのはやっぱり地域の方の力を借りていきなると難しいと思います。そこをなんとか子供たちが朝ごはんを食べていただけるように家庭とも協力しながら続けるしかないのかなという風に思います。何かいい案があればなと思います。

(市長)

これは個々のケースが全然違うもんで難しいと思う。残念なことだ。何か成功事例を持っているのか。

(教育長)

成功事例ではないんですけど、子供が朝ごはん食べてこないという子がいたので担任がいつもおにぎりを持ってきて食べさせていました。担任一人の努力でできていました。

(市長)

それは、親御さんのネグレクトが原因なのか。忙しかったのか。

(教育長)

お仕事が夜遅く、朝に起きられなかったためのようです。

(市長)

これは担任の対応にもよるから、何か社会的な方法で対応できないのかなと思う。社会的処方考えられないのかなと思うが、これは非常に難しい。そこのおうちの中へ入っていくことになる。何かいい方法がないか考えてほしいが、難しいと思う。

(教育長)

29年度の調べで、小学校で朝食を食べてくる子は87.7%、中学校で84.3%。「朝起きるのが遅い」「食べる時間がない」という子供自身の時間の使い方の問題と、もう1つは「親が朝食を作れない、作らない」というところが影響し、大変大きな問題になっている。

子供たちの生活ルール、いわゆる早寝早起きというふう子供が家庭での一日のスタートにご飯を食べてくるというのは大変大事で、名張市においても、コミュニティ・スクールの活動の中で、そういうムードを盛り上げて、みんなでそういう体制をやっていくように努力していこうということをおっしゃってくれている地域もある。これをいかに有効にしていけるか、学校はそういう子供の状況等を正しく伝えていきながら、保護者を含めて解決していくことをやっていかないといけない。子供たちの健やかな成長の第一番は朝ごはんだと考えてますから、みんながその方向に取り組んでいかないといけないと思っている。

(市長)

子供っていうのは基礎代謝がものすごくいるわけです。成長のためのエネルギーがいる。それは成長にかかわる問題なので、なんとか名張の子はみんな朝食を食べてほしいなと思っています。

(教育委員)

私もやはり子供の成長、健やかな体を育成ということが市の発展につながる一番大事な基盤だと思います。ですので、家庭の啓発というお言葉ありましたが、その通りでこの育成を進めていくという方針に非常に賛成です。ボランティア活動というようなまちの方々の協力ということもあるんですが、親がどうしても怠慢でどうしても朝食を作っていないとか、家庭の色々な事情で被害にあっているのは子供だということになります。私も大学生に朝に何を食べて来てるかということを知ったことがあります。そうしたら、こちらの想像しているより内容が非常に乏しいと言うか、これだけの身体の学生で、こんなぐらいの朝食でいいのかと思うぐらいしか食べていない。お昼もカップラーメンとかそんなものしか食べていない。果たして、この人たちが今後の社会を作っていく基盤となって人材となってくるのかなと非常に不安な思いをしました。一番の問題は家庭の啓発の基礎は教育ではないかと思っています。食育といった時にどういう栄養素が大事で、どういう食事をした方がよいかとか、食事をするとどういう効果があるかということをおっしゃってくれていたように、やはりそういう啓蒙活動が重要ですね。そういうことを通じていかないと自分のうちのやり方にはやはりなかなか他人が入ってくるのは難しいと思いますので、何らかの形で市民向けの食育活動を今後も続けていくのは非常に重要かと思っています。

(市長)

啓蒙・啓発というのは非常に重要やと思いますけど、学校でも重要性を教えないといけな

いし、家庭向けの啓蒙・啓発もしていかないといけない。今の「釜石の軌跡」というのがあり、津波の時は何を差し置いても逃げろということで、あれは何が功を奏したかと言えば、家庭教育だという。その家庭教育が何かと言ったら学校でそういうことを子供たちにきっちり教えている。それを子供たちが家庭の中でそれを話題にすると、そういうことから始めなければならなかったということだ。

(教育委員)

私共の息子も食欲がなく、なかなか食べられない、朝からお腹が空かないと言っている。きつともっと早く起きてきたら食べてくれるのかなと思い、早寝・早起き・朝ごはんは、いろいろ聞かせていただいて重要さは分かるんですけど、作っても食べてくれないこともある。家庭の話ですけども私たちもいろいろ工夫が必要かなと思っている。今の子供は、とっても忙しい状況の中、家庭で勉強をしなきゃいけない。でも早寝・早起きもしなきゃいけないととても矛盾もあったりするのかなと思う。家庭と学校の密なつながりが重要かなあと思います。家庭に発信することによって生活リズムもついていくのではないかなと思う。食育もそうですけど、今回の学習状況調査も見させていただいて家庭学習の重要性っていうのをすごく感じました。小学校の時から学習の大切さっていうのを保護者にも分かっていたかかないといけないなと思いましたし、この状況を周知していかなくちゃいけないと思いました。ただ、色んなご家庭もある中でなかなか難しいことだとは思いますが、たとえば、個人懇談なら保護者と先生と一対一で話せる時間はありますのでその時に小学校の時からきめ細やかな指導というか、今まで私が先生と話してきた内容として、「元気にしてくれています」、「お友達とも仲良くしてくれています」、「授業もしっかり聞いてくれています」、「ちゃんとテストもそこそこ出来ています」ぐらいの話しかしてこなかったんですけど、今年初めて5年生の担任の先生に1学期の個人懇談の時に、「算数のまとめテストをしました。だいたいこのぐらい点でこのクラスの中でこのぐらいの位置にいます」と細かな説明をしていただいた。小学校でそういうお話を聞いたのは初めてのことだったので、これはすごく保護者にとって、学校では学習が大事という意識も高まりますし、すごくいいなと感じました。そういうことを子どもが小さい頃からしていけば家庭での意識も高まると思うので、それが家庭学習につながり、学力向上につながるのではないかなと思います。ちょっと食育からは外れてしまいましたけど、そのように感じました。

(市長)

1日の生活習慣をきっちり身に着けさせるということですね。今、小学生と中学生の睡眠時間が減ってきているというのは非常に大きな問題です。1日の生活習慣をきっちり身に着けさせるとだだらと長く寝ない子が増えて来るといいますから、そういうことでこれから非常に重要になってくると思います。食育、朝食については今日は結論的なものは出ませんので、また事務方も勉強しておいて下さい。その他この朝食以外でなにかご意見ありますか。

(教育委員)

財政も苦しいというのは十分承知しているのですが、ICT環境の整備ですね。国も補助金を計上はしているが、三重県、名張市に来るのはどれほどかということになると、本当に僅かな額にはなるかと思う。このタイミングでちょうどリースが切れるということで、できればiPadを持たしてやって、それが各教室にある電子黒板につながって、それで授業が進められる。この前、京都へ研修に行かせてもらった時に児童がみんなiPadを持って、前に電子黒板があり、先生が「〇〇さん」と言うと、その子がiPadの中で計算したのがサッと電子黒板に映し出されて、みんなが「こうじゃないか」とか、「ここは間違えているよ」とかと言いながら授業をしてくれていました。やっぱり、もうそういう時代になってるんだろうなと思うんです。なかなか無い袖は振れやんといつも市長もおっしゃっていますけども、どうしても必要な部分についてご支援いただけたらと思うんですけども、どうでしょうか。

(市長)

この問題については国が推進してるということでもあるので、国もある一定その腹をくくってもらわないといけない。「あの市でいたらこんなことが出来なかった」とか、「あの町はここまで進んだことをやっていた」というのでは、日本の教育の中で、そんなことがあってはならないとは思っている。空調整備についても自治体で格差が出るようなことはあってはならないということで、我々の市長会としては、最低限これはなければいけないという部分について、これは整備していかないといけないと思っています。国が言い出した保育園の無償化もそうである。国が言い出してきているのに、8,300億円ぐらいの半分以上が基礎自治体、市町村の負担だ、と言っている。ところが今の制度についていける自治体もあるけれど、ついていけない自治体もある。本市で言えば2億円から3億円、余分にかかってくるわけで、これはとんでもない話だと、この前の全国市長会の役員の中でも炎上してしまいました。国がいい格好して言い出したのに、国がきっちりと全国共通でこういうことが行われるようにしないとけない。消費税の増税分の枠外で選挙向けに言い出したのかもしれない。どこから金を持ってくるのかわからないけれど4,000億円ぐらい、それ以上に市町村が出せと、これはむちゃくちゃな話でどうかなと思います。また、無認可の保育所にも補助金を出していくことになれば、責任が出てきますが、それをだれが管理監督するかってなってくるわけです。保育士1人もいないところもある。そんな無責任なところへは補助金を出せないという話を今している。これも含めてICTも国がええ格好して、やると言っている。でも予算の裏付けどうなるんやと。これもそれの一つですからできる限り、名張でいたからこんなことが出来なかった、と言われることのないようにだけはしたいと思っています。

(教育長)

全国の都市教育長会があり、国は新しい学習指導、色々な実習を含めまして昨年度12月

に学校における ICT 環境の整備方針というのを 2018 年度から 2022 年度の中で経費として、5 年間で総額 9,025 億円の地方財政措置を講じることを打ち出したところです。実際問題は財産措置をしているといいながらも、各地方自治体においては格差が生じる。小学校ではプログラミング教育を実施するという国が言った以上のことの裏付けをちゃんとしてもらいたいとも言わしてもらいました。やはり、この整備をするとともにせっきゃく学校にあっても使いこなせるかどうか、そういう指導が問題点であり、そちらについてもやっぱり並行してやっていかないと、せっきゃく機器は整っても子供たちが実際困るというのではいけない。このことについてもきちんとやっていこうということで、ソフト面に対する授業補助というかこれも文科省、名張市におきましても今もやっていますが、どのクラスもどの教科においても等しく使えるような形をとっていけないといけないので、教職員の研修なり、あるいは場合によっては地域からそういう人を派遣してもらうなどの手だてを早くしないと、できる先生もいる、できない先生もいるではせっきゃくのものが使えなくなってくる。こちらもしっかりと安定してやっていかないといけない。そのためにも教育センターの中でこれを十分してやっていきたいと思っています。

(市長)

地方交付税でまた免除にするということで、教育長会では何にも言っていないのか。

(教育長)

いや、言ってます。特定財源で、と強く言わしてもらっています。

(市長)

保育園の無償化も一緒ですが、地方交付税で何とか免除になっています。地方交付税みたいな財源が決まっているわけですよ。財源の中で組み替えるだけでしょう。地方へ来る額は一緒なんです。地方交付税でだまされたいいけない。合併しなかった自治体ののが減らされて、合併したところは一定に保たれています。合併した自治体が優先されて配分があるわけですから、地方交付税というのはなかなか曲者だと考えています。きっちりとした財源は、処置してもらわないといけないと思います。

(教育委員)

コンピューターのプログラミング教育のことについてですけども 2 点あります。1 点目は指導要領の中にもあると思うのですけれども、実際、ICT を使ってそれをうまく社会に役立てるといふ言葉があるように思いますけれども倫理の問題です。その倫理の教育ということについても非常に重視をしてはどうかというふうに思います。2 点目は、現場の先生方の負担も大変だと思います。現場の教員も新たなことが増えるばかりで組み替えということも他の業務の削減ということもありません。そういう中で新しいことをどんどんやらなければいけないと非常に負荷がかかります。これは現場の教員のやる気を阻害すると私は思

いますので、ぜひともですね新しいことが入ってきたら何か古いものを捨てていくような形で、他の業務を削減するような新しい発想の転換をしていただきたい。学校で本当にやることと、やらなくていいことをある程度見極めて、ここは集中的にやっていくことも考えてはどうかと思います。ベテランの先生方には具体的に機器の問題というよりも、やはり社会的な倫理道德の面ですとか、様々な判断能力といったことに指導能力を発揮して頂くような場面も相当多いかと思います。ですので英語の教育でも、ICTの教育でも同じレベルのものを同じように全教員に求めるということは、非常に難しい問題になると思いますし、教員に格差とは言いませんけども何らかの形で手だても必要じゃないかと思います。今、特別研修を受けられた2人の先生方がリーダーに、とありますけど各学校に1人ということで責任を負わされている先生の立場を考えると非常にづらい思いがあると思います。そうではなくてやはりサポートできる体制をもう少し手厚くしていただくには、この先生方の他の負担を減らしていただくことを考えていただければと思います。校長先生、それから教育委員会のリーダーシップをもって新たな視点で業務の削減というようなことを考えながら、新しいことをやるというように、市長さんのお考えで是非とも進めていただきたいと思います。

(市長)

現場の個々の業務内容については全てを把握してあるということではないですけども、教職員の勤務実態が今パンパンやと聞いています。新しいものが入ってきたら、何かを捨てていかなあかんと。スクラップ・アンド・ビルドをやっていかなざるを得ないと言うことで教育委員会の方でも色々勉強していってもらわないといけない。他に何かありますか。

(教育委員)

プログラミングについてはメンターというか、今おっしゃってくれたようにリーダーをどんどん増やし、今ある機器をうまく使ってやっていけるような仕組みと、英語については、うちは長く英語教育に取り組んでまいりましたので、その中で育てているというのもあるんですが人材の配置の仕方についても県、国の方からの非常勤や専門的に専科で入っていく教員も使いながらやっていきたい。つつじが丘小学校につきましても2月1日に全国小学校英語研究大会を国の文科省の調査官も来ていただいて全学年での発表を行います。そういう意味では、先進的に取り組んでいる地域としての場の発信も含めてやる中で、すべての子供たちにどのような子供を育てていくのかというところで考えると英語もプログラミングもそこは一緒やなという話もしていますのでどうすればスリムになるか仕組みを考えてまいりたいと思います。

(市長)

時間が超過しましたがけども、これだけは言っておかないといけないというのがあればどうぞ。

(教育委員)

スクラップ・アンド・ビルドという考え方が教育委員会というか文科省ではビルド・アンド・ビルドです。ほんとに大変やと思う。これを解消するのは業務を減らすか、人を増やすしかない。ところが人を増やすといっても退職した教員の話を知っていると、たくさん仕事は頂けんねんけど、結局持ち時間が少ないので収益や収入が少ないと。拘束はされるけれど収益が少ないって悩んでいる先生もおるように聞きます。これだけ人が必要やと思いますので、その辺のところをボランティアだけではいけないところもあると思います。有償ボランティアっていう方法も考えていってもらえないかなと思います。

(教育委員)

現場を知ってもらうということは保護者やコミュニティスクールをする中でまちづくり組織の方にもたくさん実態を知ってもらったら、こんなことを学校としてやっているということが言葉で聞いているよりもはっきり分かるという話でございます。先般も名張幼稚園の発表もしてもらいました。保幼小と小学校の連携ということで小学校の先生もたくさん来てくれとったんですけども、やっぱり現場へ行ってもらって、小学校に入るまでに幼稚園でこんなこともやっているということ踏まえたうえで、次の小学校でどうやっていくかが非常に大事なことです。最後にもう一つだけ。市長さんもいろいろお忙しいと思うんですけども、学校現場にも出向いていただければありがたいなと思います。この間、教育委員さんにも多く参加してもらったんですけども、非常に素晴らしい演奏もしてくれていました。そういう状況もちょっと見てもらったら、こういうこともやっているということが分かってもらえるかなと。お忙しいと思いますけども、またできるだけお越しいただければありがたいと思います。

(市長)

今日は教育委員さんからも貴重な多くの意見をいただきました。宿題もありましたが、それも進めていただければとそう思っています。よろしくお願ひします。どうも今日は貴重なお時間、ありがとうございました。

(事務局)

今年度の総合教育会議は3回を予定しております。3回目の会議につきましては、2月下旬を予定しておりますので、日程を調整させていただいたうえでご案内の方させていただきます。